

「自分を極める」

2年 波多野 己沙

「己沙」は漢字。例えば自分の漢字について
の「エピソード」と聞いたので、私が自分の名前
を好きになっただき、かけについて書きたい。
自分の名前について母に尋ねたことかあ
た。己沙の「己」をなせ希望の「希」や輝く
の「輝」などにしなかつたのが、と。別に不
満があつた訳ではないが、一般にあまり使わ
ない漢字だと思つたのだ。母の答えはこうだ
「た。己沙の「己」は自分。「沙」は砂の意味。
砂は岩が氷の流れに乗り、長い時間をかけて

磨かれて磨かれてたどり着く形。つまり、己
沙は「自分を極める」という意味。
私が母にこの話をしてもらつたのは、確か
小学校五年生くらい頃のたと思ふ。この
ころがあつたから、私はその前までよらず、
と勉強や運動を頑張るようになった。た気がす
る。母は直接言うのは恥ずかしくて無理だが、文
でなら言える気がする。
この名前をくれてありがとう。気に入つて